

令和三年度

国語

(文学科 日本語日本文学専攻)

9:30
～
11:00

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は2枚あります。
- 3 試験開始の合図があつたら、まずページ数、枚数を確認し(足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること)、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 この問題冊子にある余白は、下書きなどに利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【省略】

【省略】

（東畑開人『居るのはつらいよ——ケアとセラピーについての覚書』

二〇一九年、医学書院、152～155ページより作成。）

- 注1 ハエバルくん …… この文章の主人公「僕」が勤めるデイケアに通っている青年。
注2 ウイニコット …… イギリスの小児科医、精神分析家。
注3 ツムツム …… スマートフォン向けのゲーム。

問一 ——部①～⑫の片仮名は漢字に、漢字は平仮名に直しなさい。

問二 ——部A「遊びを仕事にしよう」という言葉が意図することは何か、わかりやすく説明しなさい。

問三 ——部B「治療者のなすべき作業は、患者を遊べない状態から遊べる状態へ導くように努力することである」とあるが、「遊べる状態へ導くこと」がなぜ「治療」につながるのか、わかりやすく説明しなさい。

問四 ——部C「あわい」と同じ意味で使われている言葉を、本文から漢字二字で書き抜きなさい。

問五 ——部D「少年は心の中で母親に抱かれている」とはどのような状態を示しているか、わかりやすく説明しなさい。

問六 ——部E「それはそれでヤバイ」とあるが、何がどうして「ヤバイ」のか、わかりやすく説明しなさい。

問七 ——部F「遊んでいるうちに普通に友達になっている」ときに起きていることは何か、本文の言葉を使って説明しなさい。

問八 ——部G「鶏と卵のような話」という言葉は、ここではどのような事態をたえるために使われているのか、わかりやすく説明しなさい。

二 次の文章は建礼門院徳子に仕えた女房である右京大夫の家集『建礼門院右京大夫集』の一節で、屋島の戦いから離脱し、高野山で出家していた平維盛が、熊野灘に身を投げて二十七歳の若さで亡くなったという知らせを受けた場面です。これを読んで後の問いに答えなさい。

「維盛の三位中将、熊野にて身を投げて」とて、人の言ひあはれがりアし。いづれも、今の世を見聞くにも、げにすぐれたりイしなど思ひ出でらるるあたりなれど、際ことにありがたかりし容貌用意、まことに昔今見る中に、例もなかりしぞかウし。されば、A折々には、めでぬ人やありし。

法住寺殿の御賀注1に、青海波注2舞ひての折などは、「光源氏の例注3も思ひ出でらるる」などこそ、人々言ひエしか。「B花のほひもげにけおされぬべく」など、聞こえしぞかし。その面影はさることにて、見なれしあはれ注4、いづれもと言ひながら、なほことに覚ゆ。「同じことと思へ注5」と、折々は言はれしを、「Cさこそ」といらへしかば、「されど、Dさやはある」と言はれしことなど、数々悲しとも言ふばかりなし。

E 春の花の色によそへし面影のむなしき波の下に朽ちぬる

(『建礼門院右京大夫集』より)

注1 法住寺殿の御賀 …… 後白河法皇の御所であった法住寺で、安元二(一一七六)年の三月四日から六日にかけて行われた法皇五十歳の賀。

注2 青海波 …… 雅楽の曲名。二人で舞う。

注3 光源氏の例 …… 『源氏物語』紅葉賀巻で、光源氏が頭中将とともに青海波を舞い、人々に賞賛されたこと。

注4 見なれしあはれ …… 見慣れた人々の訃報に感じる哀れさ。

注5 同じことと思へ …… 私を(作者の恋人である)資盛と同様に思いなさい。

問一 ——部アくエの「し」について、一つだけ文法的に違うものがあります。違うものを記号で答え、品詞名と活用する品詞の場合は活用形も書きなさい。助詞・助動詞の場合はその単語の意味用法を説明しなさい。品詞の一部の場合は、一部であることを明記し、その品詞全体について説明しなさい。

問二 ——部A「折々には、めでぬ人やありし」を現代語訳しなさい。

問三 ——部B「花のほひもげにけおされぬべく」を、何(誰)が何(誰)に対してなのかわかるように現代語訳しなさい。

問四 — 部 C 「さこそ」の下に省略されている語を本文中から抜き出し、適切に活用させて書きなさい。

問五 — 部 D 「さやはある」を「さ」の指し示す内容がわかるように現代語訳しなさい。

問六 — 部 E の和歌を、誰のことを言っているのかわかるように現代語訳しなさい。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

世人多^ク蔽^レ、貴^レ耳^ヲ賤^レ目^ヲ、重^シ遙^{ナルカ}、輕^シ近^{チカキヲ}。少長周旋^シ、如^シ有^{ルモ}賢哲^ニ、每^{ツネニ}相狎^{カフ}侮^{ブシテ}、不^レ加^ヘ礼敬^ニ。他郷異^ニ、微^{カサカニカレバ}藉^ニ風声^ヲ、延^{バシ}頸^{クビヲ}企^ツ踵^ツ、甚^シ於^ニ飢渴^ニ。校^{クラベ}其^ノ長短^ヲ、覈^シ其^ノ精麤^ヲ、或^{イハ}彼^レ不^レ能^ハ如^ク此^ニ矣^ニ。所以^{ユル}魯人^ニ謂^{ヒテ}孔子^ヲ為^ス東家^ノ丘^ト。昔^ク虞^グ国^ノ宮^ノ之^シ奇^キ、少長^ニ於^テ君^ニ。君^{ナレニ}狎^レ之^ニ、不^レ納^レ其^ノ諫^ヲ、以^テ至^ル亡^ル国^ト。不^レ可^カ不^レ留^メ心^ヲ也^ヲ。

(顔之推『顔氏家訓』より)

注 蔽 …… ものわかりがわるい。

少長周旋 …… 年少者と年長者が日ごろから付き合う。

狎侮 …… なれあう。

異 …… 行政区画の一種。現在の日本でいえば町に相当する。

風声 …… 評判。

延頸企踵 …… 首を伸ばし、つま先立つ。待ちこがれるさまを表わす。

麤 …… 粗い。

孔子 …… 孔子は尊称で、本名は孔丘。春秋時代、魯国の思想家。儒教の祖として尊敬される。

虞国宮之奇 …… 虞は春秋時代にあった国の一つ。宮之奇は虞国の大臣として主君に仕えていた。

問一 —— 部Aを書き下し文にしない。漢字を使わず、すべてひらがなで書くこと（現代仮名遣いでもよい）。なお、返り点・送り仮名は省略してあります。

問二 —— 部Bを現代日本語に訳しなさい。このとき、「彼」「此」を具体的に訳すこと。

問三 —— 部Cについて、「少」の読み、「長於君」の読み、「長於君」の訳としてもっとも適切なものを、次の選択肢のなかからそれぞれ一つ選び記号で答えなさい。

少の読み	ア わかくして	イ すこしく
	ウ ちひさくして	エ しばらく
長於君の読み	ア くんちちやうず	イ くんにながし
	ウ くんよりちやうず	エ くんよりながし
長於君の訳	ア 君に長く仕えた	イ 君のそばで育った
	ウ 君より優秀だ	エ 君より年長だった

問四 ——部の主旨は何か、文章全体をふまえてわかりやすく説明しなさい。例えを使った表

現が含まれるので、何を指しているか具体的に示すこと。